

いきいき健康づくり

～ 受動喫煙防止について ～

第13号 平成26年3月
 吉岐保健所地域・職域連携
 推進協議会

○「受動喫煙」とは？

「受動喫煙」とは、たばこを吸わない人が自らの意思に反して、副流煙を吸わされてしまうことをいいます。

たばこを吸わない人もたばこから立ちのぼる煙(副流煙)を吸うことで健康が損なわれます。副流煙の有害物質の濃度は主流煙(喫煙者が吸う煙)の何倍も高いとされています。

主流煙の何倍も有害な副流煙！！

* 受動喫煙による健康への悪影響は科学的に明らかになっています。

「副流煙」たばこの先から出る煙

「主流煙」喫煙者が吸い込む煙

＜フィルター付き紙巻たばこ1本あたりの発生量＞

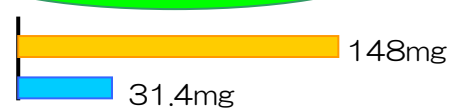
副流煙

主流煙

ニコチン：2.8倍

タール：3.4倍

一酸化炭素：4.7倍



(*厚生労働省資料より)

○「受動喫煙」による肺がんと虚血性心疾患により、年間約6,800人が死亡していると推計されています。これは交通事故死亡数の約1.5倍です！！

●受動喫煙に起因する年間死亡数

	疾患	受動喫煙起因 年間死亡数*	
		男性	女性
家庭での受動喫煙	肺がん	201人	1,131人
	虚血性心疾患	206人	1,640人
職場での受動喫煙	肺がん	448人	340人
	虚血性心疾患	1,366人	1,471人
小計		2,221人	4,582人
合計		6,803人	

※人口動態統計2008年死亡数。

【出典：独立行政法人国立がん研究センター・「喫煙と健康」WHO指定研究協力センター：受動喫煙による死亡数の推計について（解説）

：2010 [L20110523024] より作図。 (http://www.ncc.go.jp/jp/information/pdf/20101021_tobacco.pdf)】

○たばこの煙は身近にある高濃度の「PM2.5」です！！

微小粒子状物質「PM2.5」とは、大気中に漂う粒径 $2.5\mu\text{m}$ ($1\mu\text{m}=0.001\text{mm}$)以下の小さな粒子（髪の毛の太さの1/30）であり、肺の奥深くまで進入し、肺がんなどの呼吸器系への影響と循環器系への影響が懸念されています。

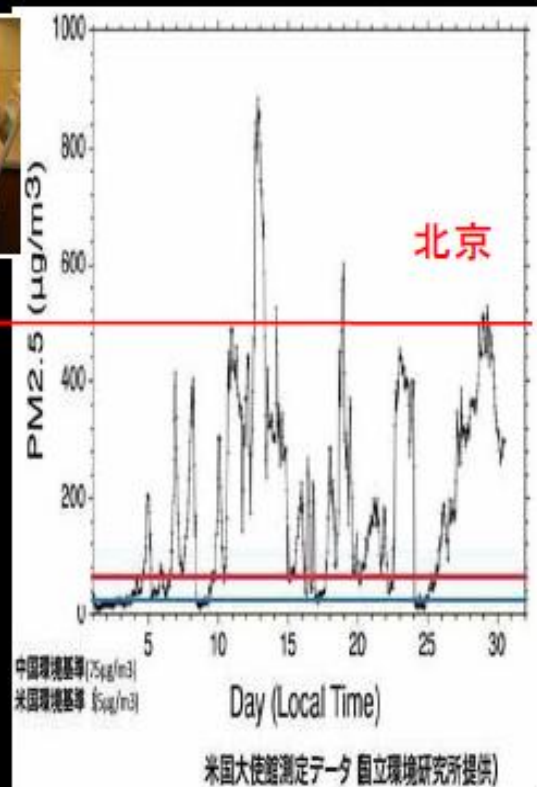
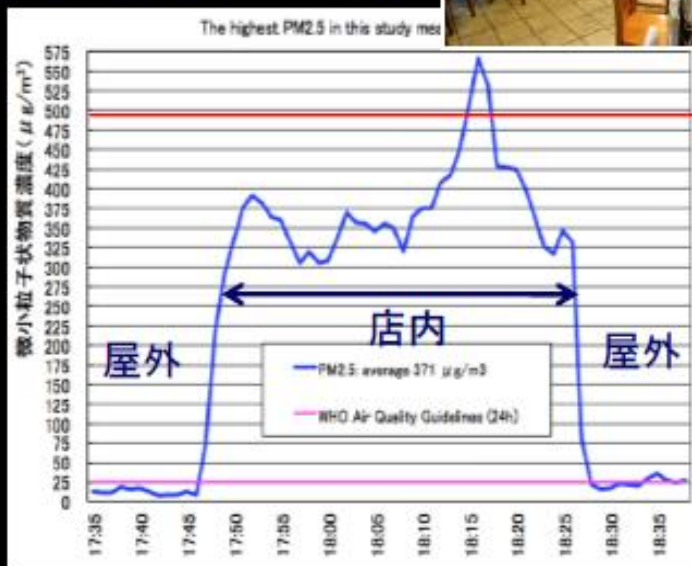
たばこの煙（主流煙も副流煙も）は直径 $2.5\mu\text{m}$ 以下であり、PM2.5の一種です。

※日本の環境省のPM2.5に関する基準は「1年平均値が $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1日平均値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること」となっています。

【喫煙可能な喫茶店や居酒屋のPM2.5】

【出典：産業医科大学産業生態研究所大和浩 教授ホームページより】

わが国のサービス産業のPM2.5
喫煙可能な喫茶店や居酒屋
最高値 : $550\mu\text{g}/\text{m}^3$
平均濃度 : $371\mu\text{g}/\text{m}^3$
WHO基準の15~20倍



たばこの臭いがする空間（喫煙室、車内、執務室、レストラン、喫茶店、居酒屋等）に長く居ることは、大気汚染がひどい街中で過ごすようなものです！！

○受動喫煙を防止するために

受動喫煙を防止するための方法は主に「**禁煙**」と「**けむりの漏れない分煙**」です。

施設や職場では敷地内禁煙や屋内禁煙、喫煙室の設置、そして家庭では子どもや妊婦さん、家族の健康を守るため禁煙、分煙を徹底し、受動喫煙防止をすすめていきましょう！！

(受動喫煙防止についての取り組み)

～受動喫煙防止島プロジェクト～ (H24～H26)

を展開中です！！

志岐市民の受動喫煙防止対策の意識の向上と受動喫煙防止対策を実施する宿泊施設の増加を目標に事業を展開しています！！

「受動喫煙防止島プロジェクトステッカー」



このようなステッカー・ポスター等をホテル・旅館・公民館等に掲示させていただきます！

志岐市民の皆様も受動喫煙防止にご協力ください！！

STOP 受動喫煙！～広げよう！受動喫煙防止の輪～